



第69期 株主通信

2015年4月1日～2016年3月31日

企業理念

私たちは地球人の一員として、公正・誠実に誇りを持って行動し、顧客満足度の高いサービスを提供し続け、より良い社会の実現に貢献します。

コーポレートスローガン

日本語：あなたの夢に挑戦します。

英語：(We are) Making your dreams come true

中国語：挑戰你的夢想

— TOP INTERVIEW —

「グローバルに進化する企業集団」を目指し 中期経営計画「躍進2016」を 着実に推進します。

Q 2015年度の概況を総括してください。

2015年度の国内経済は、政府の経済・金融対策もあって回復基調の中でスタートしましたが、後半は新興国経済の成長鈍化、とりわけ中国経済の不安定さが顕著となり、減速感が増してきました。当社を取り巻く事業環境においても、消費税増税後の消費回復の弱さや暖冬による消費マインドの停滞に加え、原油・資源価格の下落の影響を受け、厳しい状況が続きました。

こうした影響を受けながらも、中期経営計画「躍進2016」の施策を着実に遂行しました結果、子会社化したミヤコ化学株式会社が連結業績に寄与し、売上高は前年同期を大きく上回りました。中国繊維製品内販事業の見直しの加速と為替変動による外貨建債権・債務の洗替損などが要因となり、営業利益・経常利益は前年度を下回ったものの、親会社株主に帰属する当期純利益については、投資有価証券売却益を計上したこともあり、増益を達成しました。

代表取締役社長



Q 中期経営計画「躍進2016」の最終年度にあたる2016年度、目標達成に向けて注力する取り組みを聞かせてください。

2014年度から3年計画で推し進めてきました中期経営計画「躍進2016」が、いよいよ最終年度を迎えます。「グローバルに進化する企業集団を目指す」という目標を実現するべく、「連結経営基盤強化」「人的基盤強化」「新規開発・M&A」の基本戦略に基づき、いっそう力強く事業拡大を推進していきます。

「連結経営基盤強化」において特に重要と位置づけているテーマは、海外事業の強化です。世界的に見れば、繊維は成長産業であり、グローバル経営の重要性はますます増えています。今後さらに海外での事業展開を強化する足がかりとして、海外拠点の拡充、日本を介さない拠点間貿易を推進します。今年度中にベトナム（ホーチミン）とメキシコ（メキシコシティ）に現地法人を設置し、トルコ（イスタンブール）とペルー（リマ）に事務所を開設します。ホーチミンには、既に事務所を置いていますが、現地法人設置によって、アパレル向け生地など繊維素材事業を強化します。またメキシコでもカーシート向け商材の拡販の他、アメリカの現地法人（蝶理アメリカ）などと連携して化学品ビジネスの業容拡大を狙います。さらにトルコのイスタンブールに事務所を開き、化学品貿易で積み上げてきた実績を生かしたビジネスを拡大します。また、イランの制裁解除に伴い、イランにある現地法人（蝶理イラン）の活動を復活させ、改めて駐在員が常駐し、事業の再開を推進しています。

アジアでは依然として中国が最重要市場であることに変わりはありません。化学品事業では日中の有力企業との連携を強化し、新興国向けにコモディティー商品の販路を構築していきます。その他、欧米向け、中東向けの販売を強化します。

海外事業の拡大には、その推進役を担う「人的基盤強化」が欠かせません。ナショナルスタッフの積極活用でローカライゼーションを推進・強化していきます。2016年2月に蝶理（大連）貿易有限公司の総経理（社長職）に現地採用の社員を登用し、幹部クラスの現地化



も進めています。また若手のグローバル人材育成に向け、海外トレーニング制度を拡充させるなど、スピード感を持って海外で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

「新規開発・M&A」においては、子会社化したミヤコ化学株式会社との連携強化を進めています。蝶理とミヤコ化学各々のプラットフォームを有機的に結合すれば、さらなる事業拡大につながり、連結業績に大きく寄与すると期待しています。またM&Aも引き続き推進していきます。独立運営できる企業に焦点を当て、事業を「塊」で拡大していきたいと考えています。

Q 蝶理が目指す中長期的な展望を聞かせてください。

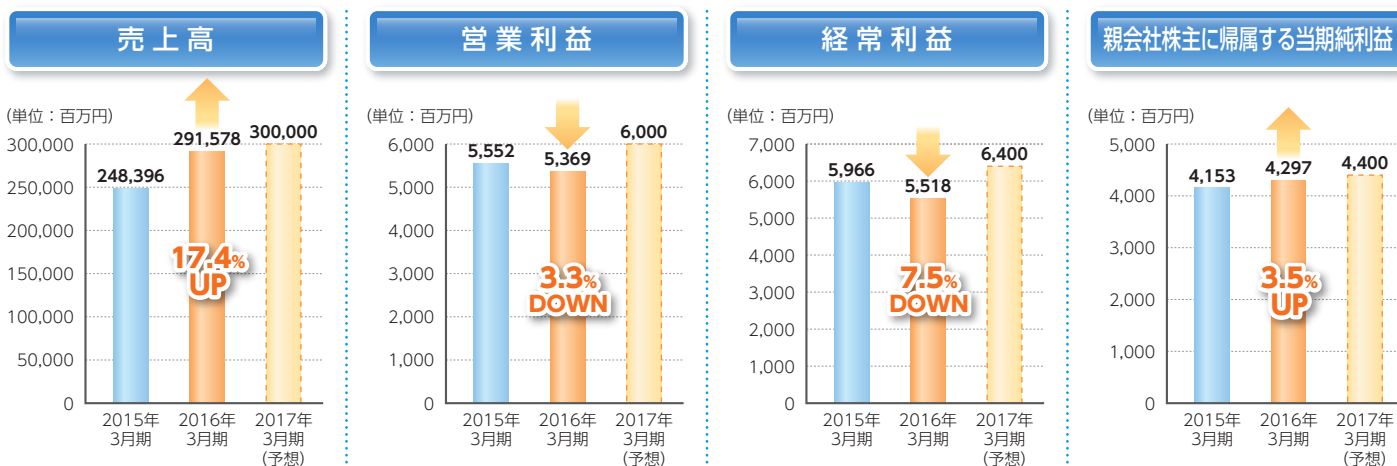
中長期的な将来を見据えて「2020年ビジョン」を掲げ、売上高4,000億円、経常利益100億円の達成を目指しています。まずは「躍進2016」の最終年度である今期、目標とする売上高3,000億円、経常利益64億円を着実に達成するべく、全力を挙げて取り組みます。

めまぐるしく変化する環境に柔軟に対応しながら、迅速かつ力強く世界に販路を広げ、高機能・高専門性を基盤として「グローバルに進化する企業集団」を目指していきます。

▶ 財務ハイライト

ミヤコ化学の連結寄与により、売上高は前年同期比17.4%増。

投資有価証券売却益の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は増益。

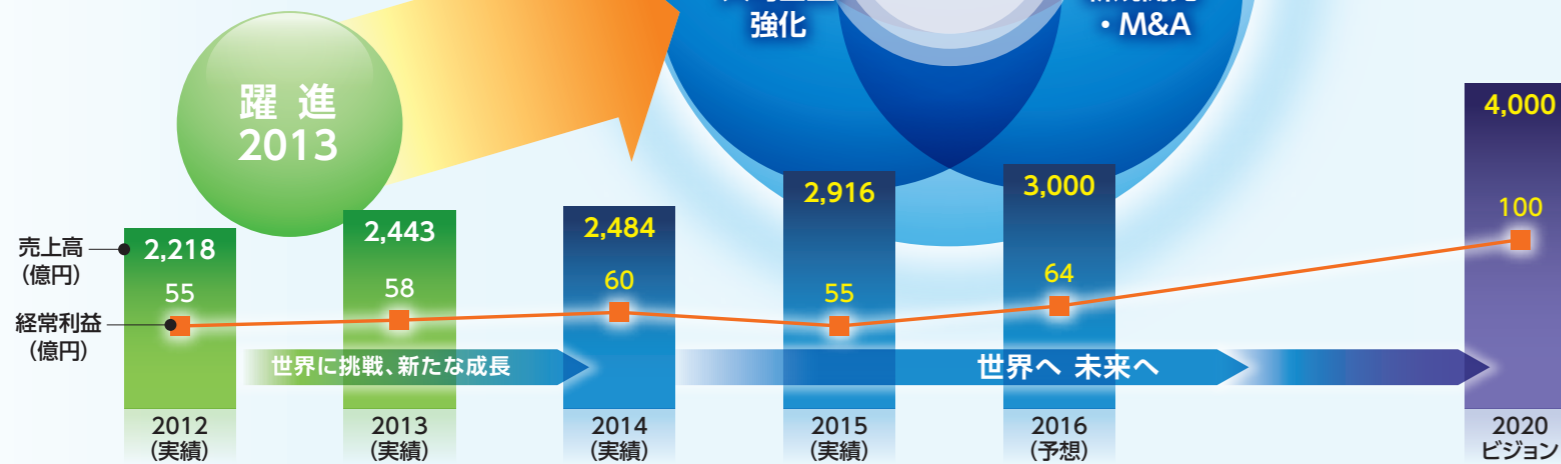


配当金 第69期(2016年3月期)の配当は、増配(34円→36円)となります。

中期経営計画「躍進2016」進捗状況

基本戦略に基づく取り組みの進捗

	2014年度	2015年度
経常利益ROA	7%	6%
経常利益連単倍率	1.2倍	1.2倍
〈海外拠点の拡充〉		
2016年2月 イスタンブール事務所設置。		
2016年度(予定) ベトナム現地法人、メキシコ現地法人の設立。リマ事務所(ペルー)の設置。		
イラン現地法人の活動再開。		
	2014年度	2015年度
ナショナルスタッフ	40名	40名
役員	240名	237名
要員	11名	14名
海外トレーニー数		



高機能・高専門性を基盤としてグローバルに進化する企業集団

連結経営基盤強化

1 連結事業基盤強化

- ▶常に将来を見据えた事業ポートフォリオを設計し高いROA水準を維持
- ▶全社活動CHORI Innovation 活動(CHOI活)の推進
- ▶為替変動への耐性を強化

2 海外事業強化

ベトナム、メキシコ、トルコ、ペルーに拠点を拡充

海外での事業拡大を目的に、ベトナム・ホーチミン、メキシコ・メキシコシティに現地法人を設立し、またトルコ・イスタンブール、ペルー・リマに駐在員事務所を立ち上げます。

人的基盤強化

1 ローカライゼーションの推進・強化

中国・大連法人の総経理に現地スタッフを登用

海外拠点での現地スタッフの登用を積極的に推進しています。蝶理(大連)貿易有限公司では、社長職にあたる総経理に現地採用のナショナルスタッフが就任しました。

2 人材育成

新規開発 M&A

1 新規開発 2 M&A

ミヤコ化学の堅実な伸長

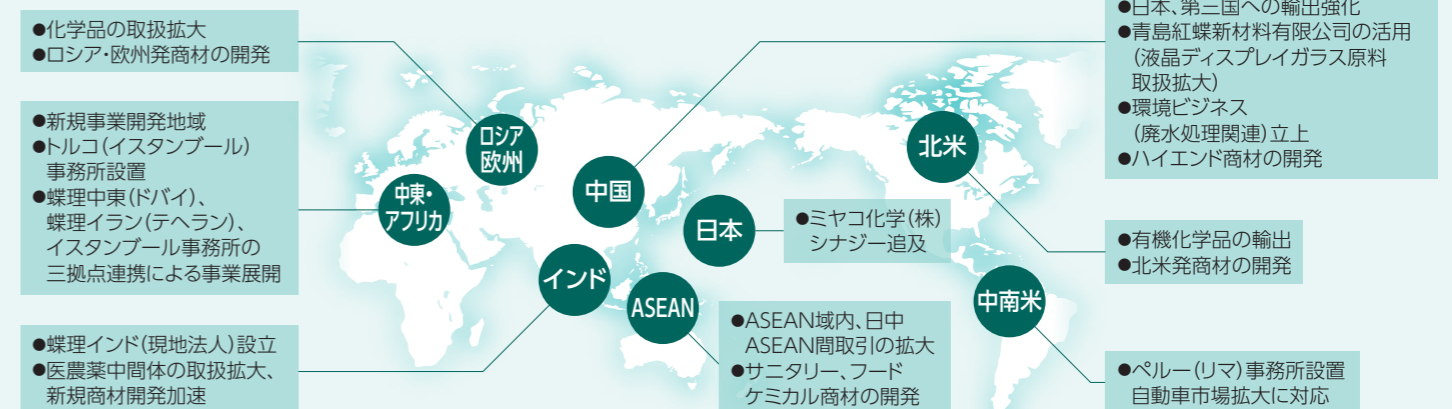
連結子会社化したミヤコ化学の業績は堅調に推移し、初年度から連結に寄与する結果となりました。基礎化学品、ファインケミカル、食品など化学品事業全般でさらにシナジーを追求していきます。

セグメント別事業の進捗

繊維事業 素材から製品までの垂直型グローバルコラボレーションを加速

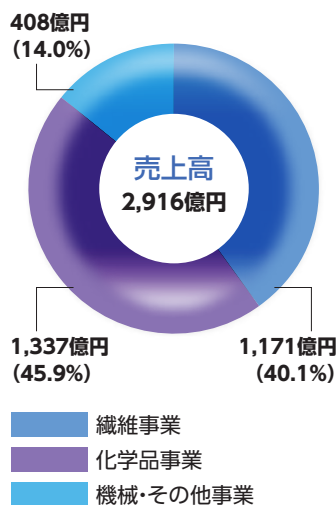


化学品・機械事業 ニッチな市場、ニッチな商材でグローバル展開を加速中



▶ 2015年度 セグメント別業績概況

セグメント別構成比



繊維事業



繊維素材分野が堅調に推移し、売上高は前年同期比増収、投資有価証券売却益などにより、セグメント利益は大幅に増益。

売上高	1,171 億円	好調	合繊原料、 中東民族衣装
営業利益	31 億円	堅調	インナーウェア
税金等調整前 当期純利益 (セグメント利益)	48 億円	苦戦	婦人・紳士向けアパレル全般、 中国製品

化学品事業



ミヤコ化学の連結子会社化により、売上高は前年同期比増収、外貨建債権・債務の為替洗替損の影響などによりセグメント利益は減益。

売上高	1,337 億円	好調	医農薬中間体
営業利益	22 億円	堅調	無機ファインケミカル、 ドリンク原料
税金等調整前 当期純利益 (セグメント利益)	22 億円	苦戦	有機化学品

機械・その他事業



中南米向け車輛事業が堅調に推移し、売上高は前年同期比増収、外貨建債権・債務の為替洗替損の影響もあり、セグメント利益は減益。

売上高	408 億円	拡大	中南米向け車輛
営業利益	0 億円	開発	環境関連
税金等調整前 当期純利益 (セグメント利益)	1 億円		

TOPIC 監査等委員会設置会社への移行

取締役会の監督機能と経営の透明性を高め、コーポレート・ガバナンスのさらなる充実を図るため、監査等委員会設置会社へ移行しました。今後は構成員の過半数を社外取締役とする監査等委員会を設置し、監査等委員である取締役が取締役会で議決権を行使する体制となります。

IR 「野村IR資産運用フェア2015」に出展



個人投資家の皆さまと対話を図ることを目的に、2015年12月11日・12日に東京で開催された「野村IR資産運用フェア2015」に出展しました。当日は社長によるプレゼンテーションの他、当社紹介を行いました。数多くの個人投資家の皆さまが当社ブースを訪れ、当社の成長と積極的なIR活動への期待が寄せられました。

社長による
プレゼンテーションは
大盛況となりました。

CSR 継続する震災復興支援

東日本大震災で多大な被害を受けた地域への支援活動を続けています。2015年10月17日、宮城県仙台市にてナチュラルダイ®を使用した草木染め体験イベントを開催。2016年3月4日には東京都で開催された岩手県・宮城県・福島県の特産品を販売する「とうほく復興応援! マルシェ」を支援しました。



東北地域への訪問・イベント開催の他、各地で被災地を支援する活動を実施。

会社概要 (2016年3月31日現在)

商号 蝶理株式会社
CHORI CO.,LTD.
本店 大阪府大阪市中央区淡路町一丁目7番3号
資本金 68億円
設立 1948(昭和23)年9月2日
[創業1861年(文久元年)]
決算日 3月31日
従業員数 単体416名(連結924名)

(注) 上記単体従業員には、他社への出向者51名が含まれています。

役員一覧 (2016年6月15日現在)

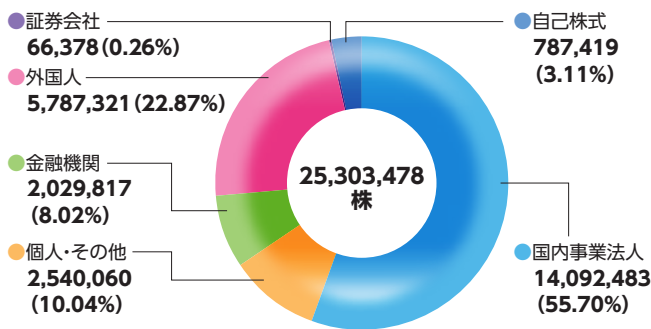
代表取締役社長 先瀨 一夫^{*1}
専務取締役 初谷 雅行^{*1}
常務取締役 安藤 敏彦^{*1}、伊勢田 長生^{*1}
取締役 敷 茂正^{*1}、渡邊 裕之^{*1}、柁田 章吾^{*2}、
青山 正史^{*3}、下河邊 和彦^{*3*4}(独立役員)、
奈良 道博^{*3*4}(独立役員)
執行役員 圓井 亮、吉田 裕志、中山 佐登子、
郷田 範泰、寺谷 義宏

(注) *1は執行役員を兼務しています。
(注) *2は業務を執行しない取締役です。
(注) *3は監査等委員である取締役です。
(注) *4は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

株式情報 (2016年3月31日現在)

発行可能株式総数 55,000,000 株
発行済株式総数 25,303,478 株
株主数 6,045 名

所有者別分布状況 (単位:株)



(注) 「個人・その他」には、株主名簿上は当社の名義ですが実質的に所有していない株式100株が含まれております。

大株主

株主名	所有持株数(千株)	持株比率(%)
東レ株式会社	12,967	52.89
ビービーエイチ ファイデリティ ピューリタン ファイデリティ シリーズ インタリシツク オポチユニティズ ファンド	1,434	5.85
インタートラスト トラスティーズ(ケイマン)リミテッド ソールリー インイツ キャパシティーズ アストラステイア オブ ジャパン アップ	665	2.72
株式会社ワコール	548	2.24
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズ ストック ファンド(プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	467	1.91
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ファイデリティ ファンズ	406	1.66
インタートラスト トラスティーズ ケイマン リミテッド アストラステイア オブ ジャパン アップ ユニット トラスト	300	1.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	271	1.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	228	0.93
HSBC BANK PLC A/C MARATHON FUSION JAPAN PARTNERS	228	0.93

*上記のほか当社所有の自己株式787,419株(3.11%)があります。
*持株比率は、自己株式(787,419株)を控除して計算しております。
*所有株式数は千株未満を切り捨てています。
*所有株式数の割合は小数第3位を四捨五入しています。
*日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数は、すべて信託業務に係るものです。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)	
定時株主総会	毎年6月中	
単元株式数	100株	
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
公告方法	電子公告(http://www.chori.co.jp/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。	
郵便物送付先 電話お問い合わせ先 お取扱店	証券会社等に口座をお持ちの場合 お取引の証券会社等になります。	特別口座の場合 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00～17:00) みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。